

CBC NEWS

コーチング

「コーチング」という言葉を最近よく耳にします。「コーチングは自発的行動を促すコミュニケーションの技術」と定義されますが、換言すれば「的確な助言を与えながらその人の思い込みを解きほぐしながら支援する手法」となります。コーチングという名前から、スポーツの分野の事柄のようですが、ビジネスや教育、子育てなど、幅広い分野に応用できるとても有意義なスキルとして注目を浴びています。

コーチングの基本的理念は、「答えはその人自身が導き出すものである」ということにあります。コーチは、一方的に何をしたらいいかの指示を出すのではなく、対象者自らの内側に答えを見つけてるよう促します。そのために、対象者の経験や資質、心

理的傾向などを把握し、対等な立場から効果的な質問を投げかけます。もちろん提案をしたり、リクエストをしたりすることはありますが、「指示」をするものではありません。コーチは、コミュニケーションの量と質を変えていく存在なのです。

この考え方やスキルは、牧会にも大いに役立つものと思われまふ。牧師が信徒の信仰歴や賜物、信仰的傾向などを把握し、その人が自分で答えを導き出せるような質問を投げかけたり、助言を与えたりするのです。一方的に指示を出したり支配したりするのではなく、対等な立場（クリスチャンとしては対等なものですから）で接することにより、人間関係上のトラブルは激減するはずですし、「この人はいままで経っても成長しないなあ」という嘆きは、牧師自身のコーチングスキルの未熟さという課題として自らに返球されます。



日本のクリスチャンはなかなか自立しない、と良く言われますが、その原因は日本人特有の甘えの構造だけではなく、牧師のコーチングのまづさにもあるのかもしれない。

神学校はある意味でコーチを養成する学校だと言えます。良いコーチになるためには、まずその分野における十分な知識を持つこと、そして対象者を的確に把握するための洞察力と「引き出し」を持つこと、そして何よりも大切なのは、答えを導き出せるような質問を投げかけるためのコミュニケーション

(学生主任 堀川 寛)

CBC NETWORK

- 十一月十三日、内山憲司師夫妻によるメシアニックジュリーに関する講義が開かれた。
- 十一月二十五日、本校の早期入学試験が行われた。
- 十二月七日、学生の冬期派遣実習が開始された。
- 一月十三日、研究科においてケーシーニング師による「ペンテコステ聖書解釈学」が開講された。
- 一月十九日、学生総会において学生総務の新役員と新寮長が選出された。
- 一月二十〇、二十四、研究家において佐布師による「人間論」が開講された。
- 一月三〇日、太平洋放送協会の谷川憲一氏による音響セミナー開かれた。
- 一月三〇日、午後には学生と教師が餅つきを行った。
- 一月三十一日、関西聖書学院の大田裕作学院長が訪校された。
- 一月〜二月のブロック授業で、菊地師による「聖書緒論」、込尾師による「イザヤ書」、大坂師による「旧約概論」、佐々木師による「宣教学」、堀川師による「新約背景」、菊山師による「モーセ五書」、ウエルチ師による「指揮法」が開講された。
- 一〜二月にかけて、学生の進級面接がもたれた。
- 二月二日、教師検定委員会による卒業生補教師面接が行われた。
- 二月九日、二〇〇三年度卒業生の理事面接が行われた。
- 二月十三日、学生伝道集会にゲストを招き、バレンタイン企画として、ゴスペルコンサートを催した。
- 二月十六日、当校においてATA運営理事会が開かれた。
- 二月二十四日、本校の入学試験が行われた。
- 二月二十五日、佐布師による「国家と教会」と題しての社会問題セミナーが開講された。
- 二月二十七日、卒業夕食会がもたれ、卒業を祝った。
- 三月二日、第五回卒業式があり、十名の卒業生を送り出した。
- 三月十三日、新四年生の中国地方キャラバンが発売した。
- 三月三〇日、当校の会計監査が行われた。
- 三月三十一日、大坂智子師が玉川大学文学部教育学科通信教育課程において図書司書の資格認定証明を授与された。
- 四月一日、菊山和夫師が当校の校長に就任された。
- 四月六日、第五九回入学式が当校のチャペルにて執り行なわれた。新入生三名と分校からの進級生一名、計四名を迎え入れた。
- 四月七、八の両日、本校チャペルにて聖別式が行われた。
- 七日には川上師が、八日には船津師がそれぞれご奉仕をされた。
- 四月八日、学生総会が開かれて、様々な討議がなされた。
- 四月十三日、前期授業が開始された。

編集 後記

いつのことだか思い出してごらん♪という歌詞の子供の童謡がある。CBCは季節感を感じられるところである。春は入学式。夏、冬は長期の派遣にて全国へ。そして、クリスマス、卒業式。その合間にさまざまな奉仕や行事が盛りだくさん。CBCニュースはCBCの思い出を綴り全国へと発送される。時が流れ数年後。私たちはCBCニュースを手に取り思いを馳せる。あの時、こんなことがあったよなと笑いながらCBCニュースを手をにしたい。

(Y.Y)

編集スタッフ

宮澤 幹彦 アシス・ロベス
新保 孝史 岩田明美
編集責任者 白石 禎男
事務局 中央聖書神学校
豊島区駒込三十一番五二〇
TEL 〇三三九一八四九二五
FAX 〇三三九一八四〇九九

CBCの新しい仲間たち

主の御名を賛美します。
二〇〇〇年の四月に洗礼を受け四年の時が経ちました。生きる意味を失い、自分自身を評価できず将来に何の希望も見出すことができなかった大学生時代。そんな時、神様と出会うことができました。私に「わたしの目には、あなたは高価で尊い。」と語りかけてくださる、その素晴らしい方の愛に、何か応答したい気持ちでいっぱいでした。



岩田 明美
天塚基督教会

ご入 おめでとう

その思いに対して神様は「あなたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたを選んだのだ。」と、私を神学校へ入る道を備えて下さいました。
入学式後、その召し重さや、御言葉を取り次ぐという使命は私には重いと感じている今日この頃です。しかし先述の御言葉に感謝し、この三年間、主の器に造り変えられたいと願っています。

後援会のご案内

中央聖書神学校が教団の伝道者養成機関として発足以来、すでに五三年を数えておりますが、その間多くの方々のご協力と献げ物と奉仕によって幾多の伝道者、働き人がこの学舎から輩出されたことは感謝であります。さらに学校の設備に充実とゆとりのある運営がなされるためには、多くの方々の賛同を必要としております。どうぞこの点をご理解いただき、是非本会にご入会くださるよう心よりお願い申し上げます。

中央聖書神学校後援会
会長 長屋 勇

後援会入会要領
個人会員 一口年五千元
法人会員 一口年一万元
☆連絡は中央聖書神学校内
援会宛にお願いいたします。

訂正とお詫び

昨年のCBCニュース十二月号中のCBCネットワーク欄(六ページ)にて、あすみが丘教会の中野貴幸兄のお名前を、中野尊幸兄と誤記致しました。ここに訂正と共に深くお詫びを申し上げます。

蔵書移動のお知らせ

二〇〇三年十一月、故弓山喜代馬師の蔵書の図書館資料室への移動が完了しました。資料保存の保管庫は江草恵美子師、横山聖子師から献品されました。今後整理を進める予定です。

Graduation 2.March.2004



谷 口 芳 彦
高知聖書教会
任地: 窪川伝道所

「主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようである。」(一ペテロ三・八b) 神学校生活は神に聖別された三年間である。振り返れば早く、またとてつもなく長い歳月が凝縮された日々のようにではなかったかと思う。教団を代表する素晴らしい先生方から膝を突き合わせて学ばせていただいた、それこそ何ものにも変えがたい生涯の宝である。きれいなごときばかりではなかった。狭い共同体生活の中で神学生同士の激しいぶつかり合いもあった。傷つき倒れる中で互いに神様に向き合うを得なかった。こうして何度も何度も壊されては造り変えられ、赦すことのすばらしさをおしえられ神の器へ



菊 池 知 子
篠原教会
任地: 宇都宮キリスト教会

三年前、すべて主に委ねて駒込の山に登って来たつもりでした。しかし、努力することや効果を実感することを支柱としてきた私は、当初神学校生活の意味が分からず、戸惑いました。その私に主は、毎朝のチャペル、教室での学び、寮生活、教会派遣等々、日常の中で私の霊的な弱さを少しずつ見させて下さいました。それは、自分の思いが先立ち、主に委ねることのできないかたくなな心でもありました。今、「主は私の羊飼い。私はその羊です。」という思い



西 川 幸 司
篠原教会
任地: 新横浜キリスト伝道所

私は、関東分校開設時から四年間、そして、フルタイムでの学びのため、中央聖書神学校の昼間において、二年間学びました。都合六年間の学びの中で神の働き人としての多くのことを学びました。神様と自分との関係が大切であるということは知的に分かっていても、実際の信仰の上に立った時、果たして、何処にも隙のない状態であるか、人に、諸々の周りのものに左右されていないか等、自身自身に問うことが多々ありまし

と造りかえられてきたように思う。旅立ちの時がきた。「主よ福音を語らせてください」とただ願うのみである。

をもって、「福音を宣べ伝えなさい。」という主の言葉に、ただただ忠実に仕えるために、駒込の山を降ります。

た。単純に、「献身します。私は召しを受けています」というようなものではないということに気付かされたことが何年続いた事でしょうか。五二歳にして慣れた職場を離れる時の決断は、そのことをクリアしていかないとできないことでありました。

この度、卒業して、いよいよ第一線での働きをします。神様との関係の大切さを、さらにしっかりと確認して、主の働きを進めてまいりたいと思います。



Graduation

2.March.2004

主の御名を賛美いたします。主の恵みと憐れみにより、また皆様のお祈りと励ましと尊い捧げものにより、卒業の日を迎えることができたことを心から感謝致します。昨年は体調不良のため、思いがけず休学を余儀なくされましたが、力強い主のみ手により、再び神学校に戻ってくることができました。主の御約束は変わらず、主の恵みは十分であることを、身をもって体験いたしました。

無きに等しい者を、あえて選んで下さる主を賛美しつつ、「私は、私を強くしてくださいる方によって、どんなことでもできるのです」と告白しつつ、歩んで参りたいと思います。



倉橋 由香
高槻キリスト教会
任地:但馬伝道所



吉 永 豊
町田聖書教会
任地:町田聖書教会



山岸 よしあ
北越谷キリスト教会
任地:谷津アッセンブリー伝道所



菊池 亘
篠原教会
任地:宇都宮栄光キリスト教会

「朝ヘル」「夕ヘル」「片ヘル」「日曜派遣」「寮長」「点呼」「バックキング」「長期派遣」「ブロック」「学伝」「ゴスペルインザナイト」「スキット」「夜警」「行きますか!」「ういっす!」「部活動」「作業部」「音楽部」「伝道部」「運動部」「すばらしい」「感動しました」「宣教の情熱」「学生主任」「舎監」「完全休日」…今となつては様々な神学校校内用語が、記憶の彼方に消えつつありますが、神学校生活で叩き込まれた「いのり」そして「福音を宣べ伝えること」は、大切に磨き続けていきたいと思えます。それじゃ、「行きますか」…宣教の現場へ。

ハレルヤ!主イエスの御名を賛美いたします!愛する家族、母教会の兄弟姉妹、諸先生方、先輩、同級生、後輩、そして、この四年間の間に会った方々によって数えきれぬ支えと励ましによってこの卒業の時を迎えました。このような未熟な私を育てて下さった皆様に心からの感謝を申し上げます。「神様。このような私でよいのでしょうか。」そのような祈りを神様の前に何度捧げたでしょうか。このように私に対して、いつも神様の応えは御言葉でありました。ピリピ二章十三節。私が初めて献身の表明をした時に与えられた御言葉です。今はただ神様だけを見上げて喜んで仕えていきたいと思っています。

四年間という神学校生活を、無事終えることができました。それは、神とさまざまな人に支えられた四年間でもありました。

神学校は、まさに自分自身のすべてと向き合う場所であり、苦しみや悲しみも伴う場所でもありました。「神のなさることは、すべて時にかなって美しい」とあるように、今振り返ってみると、「よかった」といえる神学校生活でした。

これからは、伝道の第一線に出て行きます。今まで以上の困難にぶつかることも少なくないかもしれませんが、神学校で得た学びを力にして、元氣よく出て行きたいと思えます。ハレルヤ!

CBCの新しい仲間たち



井上 隆晴
水見キリスト教会

大学二年の学生キャンプに参加したときのことでした。キャンプの最後の集会で講師の先生が献身への招きの時間がありました。私はそのチャレンジに応答するのを躊躇していましたが、内側に静かな促しを感じ、立つべきであるという確信がやってきました。

そして立ち上がった瞬間に私は主の臨在に触れられ、その場書に大声で泣き崩れてしまい、恥ずかしい思いながらも抑えることができませんでした。十二年間会社員として働いていましたが、ある日のこと、み言葉を読んでみると、「あな

学

ございます

たがたのうちにいる、神の羊の群れを牧しなさい。」と一ペテロ五章二節のみ言葉が迫ってきて、その瞬間、学生キャンプの時と同じ主の臨在に触れられ、家の中で泣き崩れました。その時にフルタイムで主に仕えていくことを決心しました。

この度、入学できましたのは、主の深い愛と哀れみと、背後でお祈り下さった牧師先生をはじめ多くの方々のゆえであることに感謝しつつ、主の召しに応答していける様に祈りと学びとに励んでいきたいと思えます。



大坂 大
山手町神召教会

主の御名を褒め称えます。私は牧師の息子で小さな頃から温かく育てられていました。しかし時が経つと「本当にイエス様を信じているのか?」という疑問が出てきて、ただ生まれた所が牧師の家庭であつたのだと割り切っていました。しかしそんな私が献身の思いを感じたのは、ネパールへ日本語のボランティアとして行ったときでした。そこはとても貧しい国でカルチャーショックを受けました。しかし彼らはどんな事にも感謝し一日一日を笑顔で過ごしていて、それを見た私は、自分に最も欠けている所は全ての事に感謝する気持ちだと知らされたのです。



牧師の子として生まれた事も感謝な事で神様の計画によるのだと感じ、昨年の夏、自分を創造してくれた神様に今の自分を全て捧げようと決心しました。

まだまだ青く小さいですが、全てを感謝し日々過ごしていきます。

キャラバン伝道の証し

私たち新四年生の九人(男子六人、女子三人)は山陽と山陰チームに分かれ訪問しました。引率は大坂太郎師、堀川寛師でした。金曜日の学生伝道集会を終え、翌日の夜明け前に、車二台に分乗し中国地方へ向かいました。宇部、境港、松江、広島三滝、広島神愛、呉、福山、岡山の各教会&伝道所を訪問しました。伝道礼拝説教、SSでのお話、献身と救いのお証、若者向け特伝、特別賛美、トラクト配布のご奉仕をいたしました。ひとつの教会では一人の魂が決心を新たにされました。ハレルヤ!

またプロジェクター映像とパネル写真を用いて神学校のPRをしました。全ての教会から神学校へ献金が捧げられました。またどの教会も私達

感謝カンシヤの、 「中国地方見聞録」

を歓迎してくださり、ご馳走をしてくださいました。広島では原爆記念館を訪問する機会もありました。帰りに東名高速上で車両事故の影響により途中四時間ほど足踏みをしましたが、皆で祈りつつ無事に帰ってくることができました。キャラバン中は北野耕一元校長を始めとして、諸先生方が祈って下さいました。また後輩神学生の祈りの応援もあり大変感謝でした。栄光を主に帰します。

(四年 矢吹 大介)



《山陰チーム巡回教会》
境港キリスト教会・アッセンブリー松江福音伝道所・岡山神召基督教会・福山キリスト教会・広島基督教会・瀬戸内キリスト伝道所

《山陽チーム巡回教会》
宇部神召キリスト教会・広島神愛キリスト教会・広島基督教会・瀬戸内キリスト伝道所

お世話になりました。主の祝福をお祈り致します。

今年の卒業式は三月二日に行われ、在校生一〇人、分校生四人が、駒込山を下りて行った。神学校生活は、本人にとつて、過ぎてしまえばあつという間の出来事だったかもしれない。しかし主はその間、ひとりひとりの個性を生かしつつ大切に育てておられる。素晴らしい先生方と環境に加えて、まさに陶器師なる主の御業の現われがそこにある。入学した時には、失礼だがこの人は果たして大丈夫だろうかと思われる人でも、立派に成長し、霊肉ともに強められたくましくなって巣立っていく。ひとりひとりのこれからが本当に楽しみである。

それにつけてもここ二年ほど、入学してくる学生の数が大幅に減っているのが気になる。どうか主が多くの献身者を起こしてくださるようにと祈らずにはいられない。

(M・M)

静心

Graduation 2.March.2004



佐原 千津
山形神召キリスト教会
任地：鳥取開拓

「誰でも、私についてきたいと思う者は、自分を捨てて自分の十字架を負って私についてきなさい。」この献身の御言葉が、私の神学校生活の土台でありました。時に、この御言葉は実践が困難であることを体験致しました。しかし御言葉に立つ時、数え切れないほど、多くの恵みを与えてくださる神様の業を体験致しました。「福音を多くの人に宣べ伝えたい。」献身する以前より願っていたこの思いは、神学校生活で得た多くの恵みの確信により、更に強いものへと変えられています。三年間祈り、また支えてくださった多くの方々により感謝致します。ありがとうございます。



越智 晃
新潟福音キリスト教会
任地：人吉キリスト教会

あつという間の三年間。い外な出来事の中に、恵みあり。うるわしい全国諸教会の祈りと献げものに支えられ。えたものは、数かぞえ切れず。おとこ越智晃、卒業いたしました。

見えるところ、見えないところでの多くの支えと励ましを感謝します。



佐々木 健
釧路神愛キリスト教会
任地：名寄聖書キリスト教会

「しかしわたしたちは、この宝を土の器の中に持っている」(1コリント四・七)

神学校生活を通して、土の器に過ぎない自分の現実と与えられている宝の大きさについて繰り返し学ばれました。その中で養われたのは信仰でした。未完成であつてもキリストを宣べ伝えることが出来る。土の器の私を、日々神は造り変えてくださっている。三年間でこの確信に立つことが出来ました。

溢れるばかりの恵みを賜ってくださいる主に栄光を、そして背後にあつて祈り、支えてくださった皆様の上に、心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

卒業おめでとうございます!!



主に望みをおく人は
新たな力を得、蟄の
ように翼を張って上る。
走っても弱ることなく、
歩いても疲れない。

イザヤ書四十章三一節